

博士学位論文審査報告書

大学名 早稲田大学
研究科名 スポーツ科学研究科
申請者氏名 青柳 健隆
学位の種類 博士（スポーツ科学）
論文題目 運動部活動における外部指導者活用推進策の質的検討
Strategies for Using External Coaches in School-Based Extracurricular Sports
Activities: A Qualitative Study
論文審査員 主査 早稲田大学教授 岡 浩一朗 博士（人間科学）（早稲田大学）
副査 早稲田大学教授 土屋 純 博士（人間科学）（早稲田大学）
副査 早稲田大学准教授 作野 誠一 博士（学術）（金沢大学）

人々が心身ともに健康な生活を送るために、運動やスポーツの果たす役割は大きいと考えられている。特に、青少年の健全育成を目指して運動やスポーツは推奨されてきた。青少年が運動やスポーツを行う機会として、我が国では運動部活動が広く行われているが、専門的な指導者の不足など運営上の問題も報告されている。今後も運動部活動を維持・発展させていくためには外部指導者を活用することが有効であると考えられる。しかし、外部指導者の活用状況は十分ではなく、活用推進策の検討が求められる。そのため本論文では、質的研究手法を用いて、教員・外部指導者・潜在的な外部指導者（外部指導者になる可能性の高い地域住民）・外部指導者の活用を推進している組織という多面的な視点から、外部指導者の活用に影響する要因を明らかにすることを目的とした。

まず、教員の外部指導者活用を促進または阻害する要因を明らかにすることを目的に、公立中学校もしくは公立高等学校に勤務している教員22名を対象とした半構造化インタビュー調査を実施した。収集したデータはすべて逐語化し、KJ法を用いて促進要因および阻害要因それぞれを小カテゴリ、中カテゴリ、大カテゴリへと分類した。その結果、促進要因には、部員の成長、練習の質の向上、地域とのつながりの強化、顧問の成長などが、阻害要因には、教育面の軽視、立場の逆転、制度による制限などが挙げられた（学術誌掲載論文1）。

次に、外部指導者の部活動関与を促進または阻害する要因を明らかにすることを目的に、公立中学校もしくは公立高等学校の運動部活動で指導している外部指導者25名を対象に半構造化インタビュー調査を実施した。分析方法は上述の教員を対象とした研究と同様である。その結果、促進要因には、協力的な顧問、通いやすい環境、外部指導者の成長、人脈の獲得などが挙げられた。また、阻害要因としては、負傷者が出ることへの不安、不明確な立場や役割、学校の理解不足などが報告された（学術誌掲載論文2）。

続いて、潜在的な外部指導者の部活動関与を促進または阻害する要因を明らかにすることを目的とした半構造化インタビュー調査を実施した。対象者は、スポーツリーダーバンクに登録しているが、現在指導を行っていない者12名であった。分析方法は教員および外部指導者を対象とした研究と同様である。促進要因としては、やりがい、部員の成長、学校や顧問の理解、人脈などが、阻害要因には、指導への自信不足、情報の不足、不明確な立場、依頼が

ないことなどが類型化された (学術誌掲載論文3)。

最後に、運動部活動での外部指導者の活用推進に関する組織的な取り組みの詳細と、その問題点や課題、工夫を明らかにすることを目的とした半構造化インタビュー調査を実施した。対象とした組織は、外部指導者の活用推進に関する取り組みを現在行っている、または過去に行っていた11組織であった。分析では同一の取り組みに関連する組織をまとめ、取り組みAから取り組みGの7つの取り組みごとに、各取り組みの詳細やそれに関わる問題点や課題、工夫を整理した。そこから、それぞれの取り組みの特長や各組織で共通している人材確保、採用前、活用中における留意点が見出された (学術誌掲載論文4)。

総合考察では、これら4つの研究から得られた結果の共通性、合理性、実現可能性を包括的に検討し、外部指導者活用推進策の提案を行った。効果的に外部指導者の活用を推進するためには、仲介組織は潜在的な外部指導者側と学校側の双方から情報収集し、人が関わって仲介していくことが重要であることが示された。また、外部指導者の指導の無償化やコーディネーターの役割を地域の人々や学校へ委譲していくなどでコストの軽減を図ることや、仲介組織と地域の企業やスポーツ団体が連携し、人材を確保することの必要性に言及した。そして、正式採用前には必ず面談を実施し、試用期間を設けることの有効性が示された。外部指導者の活用中は、外部指導者にすべてを任せきりにするのではなく、あくまで顧問が主体となり、外部指導者は顧問のサポートとして位置づけることが円滑な運営のために効果的であることや、外部指導者と顧問で定期的なミーティングを行うなど、密なコミュニケーションを取り、一丸となった指導・運営を行うことが提案された。また、仲介組織や行政が講習会を開催し、外部指導者や顧問の参加を促すことの重要性が示された。

本論文で特に評価できる点は、体系的な理論の構築されていない「運動部活動における外部指導者の活用推進」というテーマについて、インタビューなどの探索的な質的研究手法を用い、多面的な視点から総合的に検討した提案を行った点である。本論文の成果は今後、公立中学校および公立高等学校の運動部活動への外部指導者活用推進という限られた部分から、私立学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、体育の授業、文化部活動など外部の人材の活用が求められる分野への応用をはじめ、地域社会と学校の連携や、地域人材の好循環の創出にも寄与すると考えられる。

なお、本論文に含まれる研究内容は、下記のように学術誌上で刊行されており、当該関連分野の研究者からも高い評価を得ている。

1. Kenryu Aoyagi, Kaori Ishii, Ai Shibata, Hirokazu Arai, Chisato Hibi, Koichiro Oka (2013) Factors associated with teachers' recruitment and continuous engagement of external coaches in school-based extracurricular sports activities: A qualitative study. *Advances in Physical Education*, 3(2): 62-70.
2. Kenryu Aoyagi, Kaori Ishii, Ai Shibata, Hirokazu Arai, Chisato Hibi, Koichiro Oka (2013) Facilitators and barriers of external coaches' involvement into school-based extracurricular sports activities: A qualitative study. *Advances in Physical Education*, 3(3): 116-124.
3. Kenryu Aoyagi, Kaori Ishii, Ai Shibata, Hirokazu Arai, Chisato Hibi, Koichiro Oka (2013) Correlates of engagement in school-based extracurricular sports activities among registrants of sports leader banks. *Journal of Physical Education and Sport*, 13(2): 127-134.
4. 青柳健隆, 石井香織, 柴田愛, 荒井弘和, 深町花子, 岡浩一朗. 運動部活動での外部指導者活用推進に向けた組織の取り組み事例. *体育学研究*, 印刷中.

5. Kenryu Aoyagi, Kaori Ishii, Ai Shibata, Hirokazu Arai, Koichiro Oka (2014) How to outsource coaching in school-based extracurricular sports activities: Evaluating perceptions of external coaches. *International Journal of Education*, 6(3): 101-118.
6. Kenryu Aoyagi, Kaori Ishii, Ai Shibata, Hirokazu Arai, Koichiro Oka (2014) Quantitative assessment of facilitators and barriers to using external coaches in school-based extracurricular sports activities. *Journal of Physical Education and Sport Management*, 5(4): 45-53.
7. 青柳健隆, 石井香織, 柴田愛, 荒井弘和, 岡浩一郎 (2014) 運動部活動における潜在的な外部指導者の社会人口統計学的特徴. *スポーツ産業学研究*, 24(2): 185-193.

以上のことから、本審査委員会は、本論文が「博士（スポーツ科学）」の学位を授与するに十分値するものと認める。

以 上